

金沢区公園愛護会便り

平成20年3月27日 No. 12
金沢土木事務所公園愛護会担当発行



日一日とあたたかくなって参りました。寒さに耐えてがんばっていた公園の木々や草花が息を吹き返し新芽を出し、花を咲かせ始めました。

横浜市公園愛護会支援制度は、3年間の

試行期間を経て、今年、いよいよ全愛護会に新制度が導入されることになりました。それに伴い、年度初めは様々な書類をお出しいただくかねばなりません。お忙しいと思いますがよろしくお願いたします。

★お知らせとお願い

お知らせ その1

○提出書類（4月25日必着）

1、技術支援申込書

・公園毎に必要

2、物品支援申込書

・複数愛護会の兼務会長は、まとめて1枚

3、口座振替払依頼書

・公園毎に必要

4、通帳コピー

・複数愛護会の兼務会長は、まとめて1枚

5、公園愛護会現況届

・引き続き愛護会長が留任する愛護会

または公園愛護会長変更届

・愛護会長が交代する愛護会

6、H19年度第4期活動報告書

7、H19年度公園愛護会収支報告書

・レシート類は、3年間、愛護会で保存

・6、7は20年度の愛護会支援の必須条件

お知らせ その2

春の種まき講習会

緑の環境リーダーによる種まき講習会を行います。土や種は準備いたします。種まき後は、持ち帰り、育てて公園に移植していただきます。

日時 4月14日(月)午前10時～11時半
(雨の時)4月15日同時刻

場所 金沢土木事務所の前庭(芝生広場)
持ち物 帽子・軍手・ピンセット(あれば)・筆記用具

* 参加希望の愛護会は、準備の都合上、4月10日までに事務所に申し込んでください。

電話 781-2515 (金沢土木)

お願い

- ・愛護会長さんが交代の時、4月25日必着の書類は現会長さんでお願いいたします。
- ・物品申し込みは、倉庫を調べて必要な物のみ申し込んでください。
- ・物品の配送は、今年度からすべて業者配送になります。配送先は会長宅か、公園に近い連絡者宅等、受取人がはっきりしている場所をご指定ください。原則、期日、時間の指定ができません。
- ・上記提出書類は**重要**と書いた封筒に入れてお送りいたします。
- ・公園で行う行事は事前に、土木事務所に行方許可申請書をお出してください。

1月から3月までの技術支援

★樹名板作り講習 その1

沢木谷公園愛護会 1月22日(火)



パークタウン自治会の5個の公園の一つです。釜利谷南小学校のこども達も参加し、40枚もの樹名板を作りました。引き続き、焼き芋イベントも行われ、寒い日でしたが

身も心も温くなりました。

★樹名板作り その2

平湯公園愛護会

樹名板のみ提供いたしました。カラタネオガタマ(江戸時代中期に中国より渡来)という珍しい木もあります。5～6月、バナナの香りの花が咲きます。

★樹名板作り講習 その3

六浦大道公園愛護会 1月10日(木)



朝比奈小学校5年生のこども達と、愛護会のメンバーで40枚の樹名板を付けました。冬休みに自分の木について調べ、メッセージボードを付けました。

★公園の安全な使い方講習

東朝比奈地藏前公園愛護会 3月12日(水)

8公園25名の参加で行いました。こども達が公園で安全に遊べるよう、愛護会の見守りのポイントと土木事務所の普段の公園点検の紹介等しました。また愛護会の皆様へのお願もいたしました。



*お詫び 同封の環境創造局環境活動事業課発行の公園愛護会通信は第24号となっていますが第25号の間違ひです。

★堆肥置き場

能見台中央公園愛護会 3月12日(水)

大変落ち葉が多い広い公園で今回2個目の堆肥置き場を作りました。秋に入れた落ち葉が半分ぐらい発酵して腐葉土になっています。良い腐葉土にするためには、こまめな天地返しが大切です。



★公園でラジオ体操しています

六浦大道公園 (東朝比奈1-26)

いつ

AM7:15~
7:30

だれ

公園の周囲の人が
30人ほど

歴史

H18.10.20~



効果

早起き習慣・生活習慣病の予防・楽しい仲間作り
その他

だれでもどうぞ、他の地区からでもいいです。ハイキング、湘南国際村、皇居、浜離宮にも行きました。

★環境リーダーに相談しませんか

- ・ 花壇は作ったけど続けるのが大変。
- ・ みんなで仲良く花壇を手入れするコツを教えてください。
- ・ 堆肥置き場の管理がよく分からない。
- ・ 道具の手入れを教えてください。
- ・ 低木の管理の仕方を教えてください。

等、なんでも困ったら事務所にご連絡ください。

環境リーダーが伺い、ご相談にのります。

公園豆知識 公園にある身近な「野生」

～公園に「野生」を取り戻す工夫～

公園担当内山です。今までは公園にいる生物たちを紹介してきましたが、今回は先日勉強した、みなさんの公園に生物を呼ぶ草刈の工夫を紹介します。

「雑草」を頼りに生きる生物たち

愛護会の敵。ぼうぼうと茂っているとそんな印象の雑草ですが、実際にどんな植物なのでしょう。

代表的なのは「イネ科」というグループ。スズメノカタビラ、メヒシバ、エノコログサ・・・。文字通り稲のなかまなので秋には穂をつけます。そしてこの穂(種)は冬にやってくる野鳥の食料になります。

公園の鳥というとスズメやハシブトカラスだけだと思いませんか？街の中の公園でもアオジやホオジロ、ツグミといった鳥たちが草の種を食べに来るんですよ。



アオジ

きれいな花が咲くグループも忘れてはいけません。以前紹介したアヤメの仲間ニワゼキショウ、ノアザ

ミ、シロツメクサなどなど。これらにはチョウが蜜を求めてあつまります。カタバミにはヤマトシジミ(シジミチョウ)が卵を産みにきます。草陰にはバッタたちが潜んでいます。公園の雑草にも多くの生き物のドラマが隠れているのです。

時期を考えた草刈で生物にもやさしい公園を

だからといって雑草伸び放題というのは困るもの。冬は火事だって心配です。そこで草刈の時期を工夫してみましょ。年2回なら7月と9月がおすす。花の時期が終わり、草が成長に専念するのが7月です。次は9月。この時期に刈ると冬までに少し伸びて小さいまま実をつけるので鳥も安心です。これより遅いと実をつけなくなってしまいます。冬でも少しだけ草が残るので、斜面の保護にもなります。

この取り組みは新しい取り組みで、土木事務所でも来年からすこしづつやってみようというレベルです。ぜひみなさんの公園でも実施して、土木事務所にも成果を教えてください。

公園づくりガイドブック

神保賢一路 著 文一総合出版 1800円(税別)

本市職員である著者が戸塚区の小雀公園で実践してきた多自然型の公園管理の手法を写真を中心にわかりやすく解説しています。

小雀公園は谷戸の地形と里山の景観を残した公園で、土木事務所が管理する公園とはだいぶ雰囲気違います。普通の街区公園に全部は適用できませんが、そのアイディアを取り入れるのも面白いかもしれません。今回紹介した草刈の話も出てきます。

土木事務所にも1冊ありますので興味のあるかたはどうぞ。小雀公園もぜひ訪れてみてください。(なお、著者の神保氏は現在は山下公園勤務です)



編集後記

【金沢土木事務所 TEL781-2515 FAX781-2822】

メールアドレス kz-aigokai@city.yokohama.jp

横浜市は南北に広いので、区によって公園の植物には特徴があります。小動物や、昆虫にも若干の違いがあります。南端の私たちの金沢区は、平均気温が1~2度高く、海に面して開放的です。土地柄が新しいことにチャレンジする愛護会が多く、活動は活発です。愛護会のみなさんの発想も豊かで10月の集いで紹介された内容があちこちに広がっています。(だれでも掃除ができるように公園で清掃用具がセットされていたり、花壇の近くの木の枝にジョーロがかけてあったり)それらで公園にくる誰かが活動しています。また、保育園児が愛護会を作り、毎日、園庭のようにして公園で遊んだり花の世話をしたり。高齢化した地域で砂場が花壇に再生。誰かの小さな思いつきで公園がきれいになる。一人の思いが100人の思いになり、何かが変わっていく。こんな良い循環が生まれています。土木事務所もできることは精一杯お手伝いいたします。今年度もよろしく願いいたします。